

健康経営

西鉄情報システムは従業員を「人財」と位置づけ、企業の成長には人財とその健康が最も重要であると考えています。このような考えの下、健康宣言を制定しました。

『西鉄情報システム健康宣言』

西鉄情報システムが、ICTの活用と自らの成長を通じてお客様の期待に応えるサービスを提供し続けるためには、多様な能力と個性を持つ従業員が心身ともに健康ではつらつと働くことが何より大切です。

西鉄情報システムは、すべての従業員が自らの健康に高い関心を持って健康保持・増進に取り組むことを支援するとともに、従業員が働きやすい・働きがいのある職場づくりに努めることをここに宣言します。

2023年8月1日

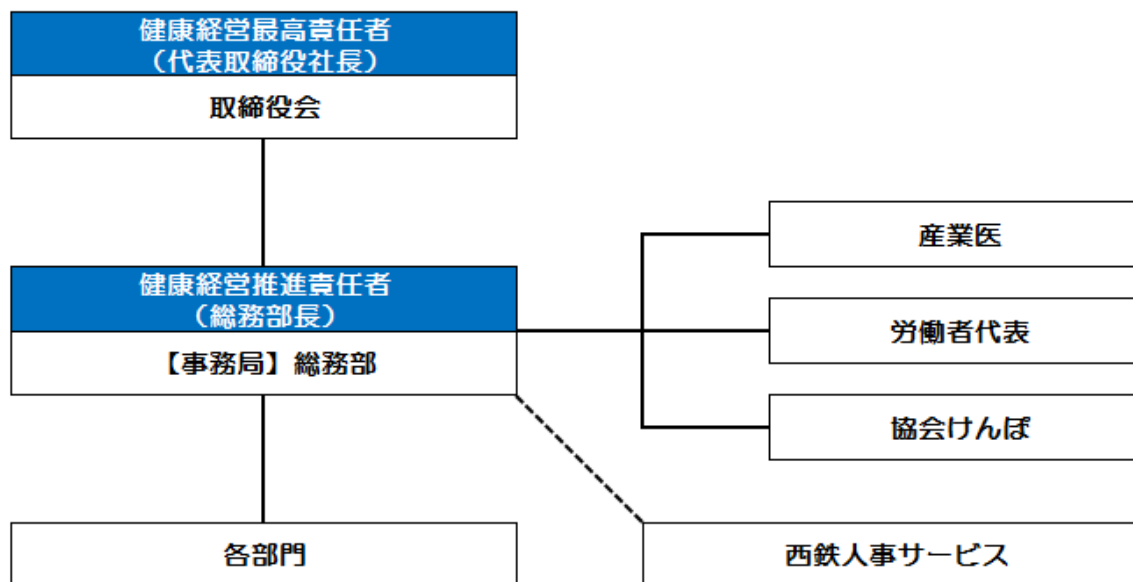
健康宣言に基づき、推進体制、具体的な取り組み、健康経営に関する指標（KP1）を定め、健康経営を推進してまいります。

推進体制

健康経営を推進するにあたり、最高責任者を代表取締役社長、推進責任者を総務部長として取り組んでまいります。

具体的な方針等については、経営層で構成される取締役会で審議・決定し、推進責任者のもと事務局が適宜進捗状況の確認や報告を行います。

外部機関との連携をはかり、実効性のある体制といたします。



具体的な取り組み

①健康診断後の再検査受診率の向上

健康診断により再検査が必要と判断された場合、原因の特定と適切な治療を要します。再検査を徹底することにより、疾病の早期発見及び治療に繋げ、従業員の健康を守ってまいります。

②禁煙への動議づけ

喫煙は脳疾患や循環器疾患等の健康リスクを高めます。従業員が定年まで働くことができるように喫煙率の低下に取り組み、健康リスクの低減を図ります。

③ストレス関連疾病の発生予防・早期発見と治療

ストレス関連の疾病により休業すると復職するまでに長期化する傾向があり、従業員の社会生活及び生活の質に多大な影響を与えることから、メンタル不調者の早期発見、治療に努めます。

④運動機会の増進、飲酒習慣及び食生活の改善

生活習慣を見直し、生活習慣病の発症や重症化を予防するためには、運動の機会を増やし飲酒習慣及び食生活の改善が必要となるため、それらの改善に取り組みます。

⑤ヘルスキーパールの設置

I T企業特有な肩こりや腰痛予防、及び快適な職場環境づくりのために施設内にマッサージルームを設置します。

健康経営に関する指標（KPI）

評価指標	2021年度実績値	2022年度実績値	2025年度目標値
健康診断の再検査受診率	28.0%	22.0%	40.0%
喫煙率	15.2%	15.9%	14.0%
ストレスチェック受検率	100.0%	100.0%	100.0%
ヘルスキーパー稼働率	—	55.0%	80.0%